	<h1>東風</h1>	糸島市立東風小学校学校通信 192号 (令和4年度第16号) 令和4年11月22日 文責 校長 重富 泰敏
-----------------------------------------------------------------------------------	-------------	-------------------------------------------------------------

体育参観感想文②3年生・4年生

<p>「がんばった体育参観」 3年 ダンスをまちがえたりしたけど、4年になってもがんばりたいと思いました。そして、とても楽しかったです。</p>
<p>「体育参観でがんばったこと」 3年 ぼくが、がんばったことは、ダンスをそろえることです。さいしょはむずかしくて、くせんしていたけど、さいごまでがんばることができて、さらに本番にみんなのえがおをみれてうれしかったです。</p>
<p>「楽しかった体育参観」 3年 私は、体育参観は、とても楽しい行事だと感じました。3年生は、はじめてのカーブ走にちょうせんしました。みんなさいごまで、走り続けてとてもすごい!と思いました。</p>
<p>「おうえんだんがいた体育さんかんの思い出」 3年 ダンスはのりのりで楽しくおどれました。たくさんの人たちが見に来られていたので、とてもきんちょうしました。みんな3位になった人も、あきらめずにさいごまで走っていてすごいなと思いました。5・6年生おうえんだん、1・2年生のときは、おうえんだんはなかったけど、今年はあってもり上がってにぎやかでした。全校の代表でしているなんてびっくり。「わたしたちも5・6年生になったら、こんなことをするんだな」と感じました。4年生になったら、運動会になってほしいです。</p>
<p>「楽しかった体育参観」 4年 ぼくは、本番の時きんちょうしたけど、今まで練習してきたことを覚えてやったらしっかりおどることができてよかったです。リレーの時も、全力で走って、バトンもわたして、チームワークが出てうれしかったし、楽しかったです。</p>
<p>「がんばったソーラン節」 4年 ぼくは、4年生のソーラン節を一生けんめいがんばりました。がんばったところは、「どっこいしょ、どっこいしょ」の声を大きく言うことです。お母さんが「すごいね。」とほめてくれて、うれしかったです。</p>
<p>「中学年最後のはく力ある体育参観」 4年 4年生は、ソーラン節とリレーを発表しました。初めてのリレーなのでバトンを落とさないか不安だったけれど本番ではうまくいったので良かったです。ソーラン節は力強く、そして大きく体を動かしておどることを意識しました。とちゅうに出てくる隊けい移動をする時に素早く移動するのがむずかしかったです。一人一人がきちんと行動しないとできないことがソーラン節でよく分かりました。今年は、5・6年生がおうえんだんとしても活やくしてくれました。おうえんしてくれたおかげで勇気が出ました。来年はぼくたちが他の学年の人たちをせいっぱいおうえんしたいと思っています。</p>
<p>「ソーラン節」 4年 ソーラン節はおどるのがむずかしかったけど大きくおどってたくさん大きな声をあげておどることができてよかったです。リレーについては、自分の全力を出して走ることができてよかったです。</p>

【保護者からいただいた感想】
体育参観お疲れ様です。去年より運動会らしくなり、あたたかみを感じたように思います。頑張っている姿が見られて、成長をまた一つ感じる事ができました。ありがとうございました。

【保護者からいただいた感想】
体育参観お疲れ様でした。ソーラン節もリレーもよく頑張っていて感動しました。ソーラン節は、家や児童クラブでよく練習していました。リレーは、わたしが動画を何十回も観ていたので、子どもがあきれていました(笑)。リレーを観ていたら、クラスの様子もわかりますね。先生やお友だちと今後もたくさん思い出をつくってほしいと思います。他の学年も素晴らしかったです。ご指導いただきありがとうございました。

【校長より】 中学年では、子どもたちの満足感や達成感が伝わってきます。クラスや学年のまとまりや一体感を感じることができた子どもや、高学年の姿へのあこがれや新たな目標につなげることができた子どもたちがいました。新しい目標につなげるチャンスにしてもらいたいと思います。


異文化体験プログラム

九州大学の留学生が、糸島市の全ての小学校で自国の文化を紹介する異文化体験プログラム。糸島市教育委員会が糸島市国際交流協会及び九州大学の協力を得て実施しています(5年目)。感染防止対策のため、オンラインの出前授業スタイルで実施されました。

「外国についてわかった交流会」 6年
外国の方との交流を通して、カリフォルニアの大きな木のところに行ってみたいと思いました。そして、糸島とドイツの海はどちらの方がきれいなのか行ってみたいです。外国の方と交流して、知らないことを知ることができてよかったです。

「九大留学生との交流」 6年
ミラーさんとミンハズさんと交流して、その国の行事や、有名な食べ物、場所を教えてもらいました。こんなふうに他の国の人と交流することはあまりないのでとても身近に感じました、楽しい交流でした。

糸島市教育委員会では、糸島の教育5つのモードを設定しています。
特に、グローバル化・高度情報化に備える英語教育や ICT 教育は、これから先の社会を生き抜く子どもたちにとって必要な力になっていきます。
本校外国科担当の岡崎英(はな)先生に、東風小の英語教育について聞いてみました。

<p>【岡崎英先生コーナー】 糸島市では、全学年、英語を使った学習を行っています。日本語と英語の違いに気付いたり、歌やゲームを通して英語表現に慣れ親しんだりすることからはじめ、友達や先生、海外の人とコミュニケーションを図ることのよさや楽しさに気付かせることを目指しています。また、東風小学校独自の取組として、毎月「5」のつく日にイングリッシュデーを設定し、全校で意識的に英語を使うようにしています。 小学生の間は、正しく英語を使うことよりも、コミュニケーションを楽しみ、相手のことや多文化について知ることを大切にしたいと考えています。このことは、将来、子ども達が世界で活躍したり、多くの人と関わり助け合いながら生活したりすることに繋がります。自分の気持ちを話せる、相手の思いを受け止めることができる子どもを目指していきます。</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------